

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

			第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重			
1	A-1-(1)-①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b
<コメント> モニタリングや支援会議等において利用者の個別支援の視点から検討する機会を設けている。また利用者から相談があれば相談室にて個別に相談に乗るよう配慮している。			
A-1-(2) 権利擁護			
2	A-1-(2)-①	利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 年間の研修計画において虐待防止の研修会の実施や、虐待防止委員会を運用している。また虐待発生時の報告手順の整備、職員に対するセルフチェックリストの実施など、虐待防止に具体的な取り組みを行っている。			

A-2 生活支援

			第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本			
3	A-2-(1)-①	利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の作業現場での困りごとにも寄り添い、円滑に業務に取り組めるよう配慮している。また行政手続きや生活インフラの利用が困難な方には同行して支援するなど個別の支援を実施している。			
4	A-2-(1)-②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の心身の状況を勘案しながら、支援会議等で随時検討を行っている。家族とも電話や連絡帳等で随時情報共有に努めている。また日本語でのコミュニケーションが困難な方の為に翻訳アプリを活用するなど、個別の配慮を実践している。			
5	A-2-(1)-③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<コメント> 職員と個別に話しやすいように、相談室を2か所設けいつでも相談したり利用できるようにしている。意思を伝えにくい利用者には家族との連絡帳を使用したり、自分から職員に声をかけにくい利用者には、職員から積極的に声をかけるようにしている。相談内容は、個別ファイルに記載し、職員間で共有している。			
6	A-2-(1)-④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	非該当
<コメント>			
7	A-2-(1)-⑤	利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<コメント> 障害への理解や専門知識を得るため全職員対象の研修会を開催し、eラーニングも活用している。整理整頓が苦手な発達障害の人に対応するため講習を受け資格を取得するなどして、専門知識を得るよう取り組んでいる。また、利用者間でのトラブルが起こらないよう留意し対応している。			
A-2-(2) 日常的生活支援			
8	A-2-(2)-①	個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	b
<コメント> 調理部門が近隣施設(食堂)で料理した食事を提供している。検食により、味や色合いなどをチェックし記録に残している。移動の支援では、送迎の際の安全管理の他、自家用車通勤時の交通安全について利用者研修を行い事故防止に努めている。			

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-2-(3) 生活環境			
9	A-2-(3)-①	利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<コメント> 事業所内は明るく、毎日の清掃によって清潔が保たれている。休憩時や必要に応じて、男女別の休憩室が利用できるようにしている。外部での作業時にも、昼食スペースを確保し休憩できるようにしている。。			
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練			
10	A-2-(4)-①	利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	非該当
<コメント>			
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援			
11	A-2-(5)-①	利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<コメント> 毎日の健康チェックにより、健康状態を把握している。具合が悪そうな利用者には、職員が声をかけ健康状態を確認している。看護師に依頼したり、予防接種や感染症予防・対応の助言を得ている。体カトレーニング機器を一通りそろえており、希望によって使用できるようにしている。利用者の休みが続いた時は、電話したり家庭訪問するなどして状況把握に努めている。			
12	A-2-(5)-②	医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	非該当
<コメント>			
A-2-(6) 社会参加、学習支援			
13	A-2-(6)-①	利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	非該当
<コメント>			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
14	A-2-(7)-①	利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b
<コメント> 利用者の希望と意向を把握し、個人を尊重した地域生活のための支援を行っている。地域生活への移行や配慮、連携・協力は、本事業所の本来の業務から外れている部分であると判断する。			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
15	A-2-(8)-①	利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b
<コメント> 利用者の家族との連携・交流と家族支援を行っている。利用者の家族への連絡が必要な利用者がほとんどいないため、利用者の意向を尊重した中で、必要な時は連絡し、取り組んでいる。もちろん、利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡のルールは明確に規定されている。			

内容評価細目の第三者評価結果 【障害者・児福祉サービス版】

A-3 発達支援

			第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援			
16	A-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	評価外
	<コメント>		

A-4 就労支援

			第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援			
17	A-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a
	<コメント> 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。利用者それぞれの障害に配慮した個別支援計画を作成し、働くことが楽しいと思えるように支援している。今日一日の仕事の内容確認等、一人ひとりが仕事に向き合う体制を整えて、働くために必要なマナーの習得にも力を入れ、利用者の意欲が感じられる。		
18	A-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a
	<コメント> 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。就業継続支援の本業として全ての項目が配慮され、工夫されて実践している。また、適正な説明責任を果たすべく、雇用契約書変更同意書を取り交わしている点なども評価したい。		
19	A-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b
	<コメント> ハローワーク訪問や話し合い、障害者職業センター等の外部専門家を講師として研修を行い、工夫を行っている。また、本法人が多機能に事業を展開している特性を生かして就職活動の支援を行っている。利用者の就業先との関係性もしっかりと構築している。一部の内容については、就業継続支援Aの業務と利用者の関係上、単独では難しい部分があることも理解できる。		